

多自然川づくり取り組み事例

タイトル：積極的な水辺空間を活用した「重信川かわまちづくり」の推進		
水系/河川名：重信川水系/重信川	河川分類：大河川	
河川の流域面積：445	整備計画流量：2500(出合)m ³ /s	セグメント：1
事業：環境整備	事業開始年度 平成30年度	
目標設定：定性的	段階：D(実施・施工時)	
課題・目的(主な)：水辺へのアクセス改善、その他		
工法(主な)：護岸整備、階段工の整備、管理用道路の整備		
配慮事項(主な)：河川景観への配慮、委員会、協議会等の開催		

背景・課題、目標設定

〈重信川かわまちづくり〉

愛媛県では、しまなみ海道を中心に、全県域でサイクリング環境の充実に取り組んでおり、重信川沿川もサイクリングロードとして活用されている。

この取り組みの充実を図ることを目的として、重信川かわまちづくりは、「自然と人、人と人との出あいの場、重信川」をコンセプトに、重信川サイクリングロードの更なる魅力の向上を図るため、あらたなサイクリングロードの整備による橋梁交差点部等における分断箇所の解消(回遊性の向上)・サイクルスタンド・ベンチ等の休憩施設の充実を行う。さらに、重信川の利活用の重点スポットである各リバースポットにおいて、民間事業者等を交えた誘致や治水・環境教育等の場の創出等を行い、水辺空間を活用した地域振興の促進を目指すものである。



取り組み内容・対策例(1/2)

〈官・民・学が一体となったかわまちづくりの推進〉

行政機関、地元学識者、市民団体の連携の下、重信川かわまちづくりの推進による水辺と周辺地域の魅力向上を目的に、「重信川かわまちづくり推進協議会」を令和4年度に設立した。

本協議会では、「重信川かわまちづくり計画」による重信川のサイクリングロードやリバースポットの日常利用、イベント活用の具体的な手段等の検討・推進を図るため、積極的な意見交換や取組状況の進捗等の共有を行っている。

現在、かわまちづくりによるハード整備を進めながら、新たなサイクリングモデルコースや自転車・歩行者共存のためのルール・マナーの作成を中心に議論を進めている。

	所属	役職	備考
行政機関	松山市 都市整備部	道路河川管理課長	
	東温市 産業建設部	都市整備課長	
	松前町 産業建設部	まちづくり課長	
	砥部町	建設課長	
	愛媛県 観光スポーツ文化部	自転車新文化推進課長	
	愛媛県 中予地方局 建設部	建設企画課長	
	愛媛県 中予地方局 地域産業振興部	地域政策課長	
有識者	松山東雲女子大学	石川和男 名誉教授	
	愛媛大学	矢田部龍一 名誉教授	
	愛媛大学社会創学部環境デザイン学科	松村輪彦 教授	
	愛媛大学大学院理工学研究科	三宅洋 教授	
市民団体等	Vertマルシェ	代表	
	サイクルショップフィールド社	経営者	
	NPO 森からつづく道	代表	
	松山白鷺ライオンズクラブ	会長	
事務局	松山商工会議所	地域振興部長	
	国土交通省 四国地方整備局	松山河川国道事務所 副所長	

協議会構成員

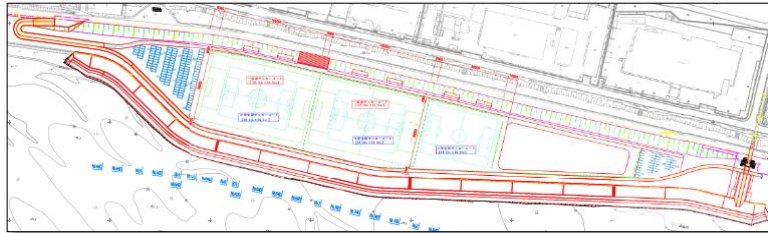


民間事業者による意見交換

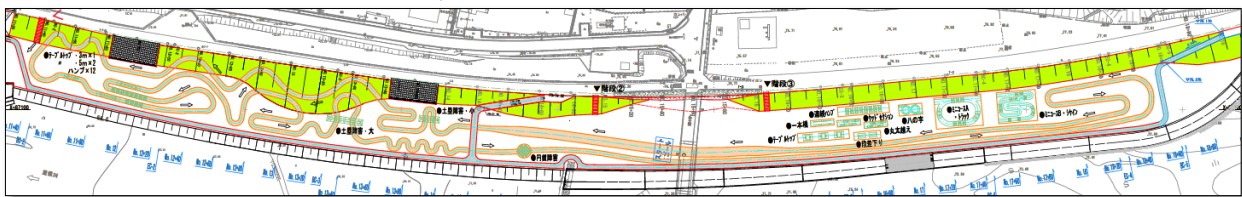
取り組み内容・対策例(2/2)

〈かわまちづくり整備箇所での積極的な利活用〉

現在、リバースポット:重信川工業団地前(愛媛県東温市)において高水敷整備を実施している。当該箇所の積極的な利活用について、自治体(東温市)と自転車関係業者(民間企業)等が協働して、サッカーグラウンドやシクロクロスの常設コース等を計画しており、関係者間で調整を行っているところである。



↑サッカーグラウンドの整備イメージ



↑シクロクロス場の整備イメージ

モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

〈アピールポイント〉

重信川かわまちづくりは、行政機関、地元学識者、市民団体が構成された「重信川かわまちづくり推進協議会」を通じて、官・民・学の密接な関係のもと進められている。

さらに、重信川流域で活発な利活用(ミズベリングの取組:マルシェ・シクロクロス等)をきっかけとして、かわまちづくりで整備される箇所の積極的な検討が進められている。



マルシェ(かすみの森公園)



重信川シクロクロス大会(かすみの森公園)

備考

問い合わせ先 松山河川国道事務所 工務第一課 河川工務係

電話番号 089-972-0206